



矢田 猛士

Takeshi Yada

分野 天文、環境教育

◆ 専門分野は？

博士（理学）。大阪大学大学院理学研究科博士後期課程宇宙地球科学専攻修了。専門は惑星物質科学、観測天文学、環境教育。現在は、太陽系外惑星を含む連星系の観測、地下水などに含まれる天然の放射能を活用した放射線学習教材の開発に取り組んでいます。

◆ この道に進んだきっかけは？

高校生の時、物理の先生に宇宙の勉強をしたいと相談したところ、物理学科を進められ大学に進学しました。大学ではワンダーフォーゲル部で、日本各地の山を登ったり、自転車旅行をしたり、海外の山も登りに行ったりもしました。そのころの経験が三瓶自然館で仕事にも役立っている気がします。たぶん。

ジャグリングは、研究室にいたオーストリアからの留学生マックス君がやっているのを見て、マネして始めました。最初は研究室にあった使い古しのテニスボールで練習をしていました。キッズサンデーではジャグリング体験会もやっていますので、ご参加ください。

◆どんな仕事をしているの？

天文に関するデータや画像の取得、天文台での天体観察会、プラネタリウムの番組制作や星空案内（生解説）、中学から高校、大学生を対象とした放射線についての勉強会、学校で撮影した星景写真を活用した星空学習などを行っています。

◆サヒメルのここを見に来てね！

館内で展示を見た後は、ぜひ、フィールドに出ていろいろな生き物を探してみたり、家の周りの身近な自然を観察してみてください。

◆研究や普及の活動です！

<論文や書籍>

T. Yada and I. Matsumoto (2022) Radiation Learning Materials Using Natural Radioisotopes Contained in Mineral and Hot Springs, Proceedings of the 9th International Conference on Geoscience Education, 51

石見銀山学ことはじめIV「銀」（2022）分担執筆「第1章（1）①銀の生成」

矢田猛士・鳴沢真也（2022）アルゴル型食連星 XZ And の光度曲線解析，島根県立三瓶自然館研究報告，20, 9-12.

矢田猛士・竹下三千世・土井美香子・中村佐恵子（2021）島根県立三瓶自然館と大田市立朝波小学校が連携した第4学年「月と星の動き」の実践，島根県立三瓶自然館研究報告，19, 129-135.

矢田猛士・松本一郎（2019）地域の温泉水を活用した放射線学習 - 半減期の測定実験，島根県地学会誌，34, 25-29

矢田猛士・片岡千修・松本一郎（2018）地域の温泉水を活用した放射線学習プログラムの構築，島根大学教職大学院紀要，1, 143-146

<館外での普及活動>

「放射線学習」（2023.1; 大田市）大田市立北三瓶中学校

「見えない放射線を見てみよう」（2023.1; 大田市）大田市立第一中学校